



第351地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第519回例会

1974~1975 第15号 1974. 10. 9

♪Renew the Spirit of Rotary ♪
♪ロータリーの精神を振るい起こせ。♪
(William R. Robbins R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 (0138) 23-3870

本日のプログラム
アメリカ万博視察
野村 宜市会員

第518回例会記録

- ◎司 会 青柳 喜一会長
- ◎ゲ ス ト 木村 清満氏 函館刑務所教誨師
- ◎ピジター 名古屋R.C. 鈴木総一郎君 シニア・アクチブ
小樽R.C. 北川 暁一君
函 館R.C. 大坂谷道三君 他10名
- ◎齊 唱 君が代・奉仕の理想

★ゾンタ・インターナショナルとは

- ゾンタとは、スー族インディアン語で「誠実」という意味です。
 - 実業専門職の女性の集りで、それぞれの所属する共同体に対する奉仕と価値を増大させ、ゾンタの奉仕という理想のもとに世界的規模の友好を通して親善平和に努力する
 - ゾンタ・インターナショナルは、国連のECOSOC、UNESCO、UNICEFに諮問機関としての地位が認められています。
 - ゾンタの歴史は、1919年ニューヨーク・パツアローに三つの州に9つのクラブの連合が創設されたのが始まりで、本部事務所がイリノイ州に選ばれた後、イリノイ州律のもとに法人組織となった。
 - ゾンタの活動は、国際的なものとして航空宇宙科学を専攻する優秀な女性に与えられるアメリカ・エアハルト寄金。避難民のためのアンネ・フランク・ヴェレージの建設そして小児科の医療施設を発展途上国の田舎で運営。この最初のもは西アフリカのガーナに建設された。
- 尚、ゾンタクラブは、それぞれの地域に於て福祉活動を行なっております。

★日本ロータリー五十年史の購入お勧め

2年前に出版されたものですが、日本ロータリーのことがよくわかります。特に新クラブの会員の皆様および新入会員の方にお勧めいたします。ご希望の方はクラブからロータリー文庫に申込んで下さい。代金は一冊2,000円です。

◎出席報告 (9月18日)

会 員 数	52 名	出 席 率	函 館 北 (9/8)	94.23%
出 席 席	40 名		函館亀田 (9/9)	88.57%
欠 席 席	12 名		函 館 東 (9/10)	98.91%
他クラブ出席	9 名		函 館 (9/12)	92.27%
出席合計	49 名		五 稜 郭 (9/13)	100%
出席除外者	0 名			

★第517回例会欠席者 (9月25日)

岩塚・大井・森(富)・小村・成田・広瀬・小笠原・佐々木・柴田・松橋・佐藤・山内(文)・平山・山矢 (以上14名 敬称略)

次回例会日 10月9日

プログラム 北海道開発の問題点、
小笠原 孝会員

函館東R.C. 日下部一博君
五稜郭R.C. 柳沢 勝君 他 3名

◎会長報告

去る 9月30日にGSE 6名の方々と通訳1名の方が無事函館に到着されました。皆様多数出迎えられ観光ホテルに宿泊されました。6時から歓迎会があり、深瀬会員宅においてGSEの会員のうちウィリアム・シャプマンさんがお世話になる事になりました。感謝申し上げます。

◎幹事報告

- 1, GSEのメンバーの皆様方は今日10時日本セメント上磯工場に到着しました。予定をはるかに上まわる長時間にわたり勉強されていた様です。11時45分森クラブの方々の御案内でシャロレー牧場に向われました。
- 2, 函館ロータリークラブより40周年記念ゴルフ大会の御案内があり6名の申込みがあります。
- 3, 苫小牧地区大会が5日・6日とせまって来ました。当クラブから20名の申込みがありました。3名の欠員があります。申込み下さい。

◎深瀬国際奉仕委員長報告

GSE一行6名は、月曜日おぞらで到着されました。皆さん非常に元気です。言語が不自由でしたが、私は医者でありますのでドイツ語が解りますが英語で非常に苦労しました。例えば、私は女の子が3人、男の子が1人居りますが、ワンストライクスリーボールで充分通じました。観光ホテルの歓迎会も会長幹事他最後まで残り乾杯して大いに親交を深めました。一行は4日まで滞在し、函館クラブにも木曜日にゲストとして招待されていますが、街でお会いする事があると思います。服装はグリーンの上着を着用して4、5名で行動していると思います。お会いしたら声を掛けロータリアンの誠意を示して下さい。

◎ニコニコボックス報告 親睦活動委員会

吉井会員退院祝い 皆様にお世話になりました。
沢村会員 御子息さんが中学校道南選手権大会体操の部に全種目優勝、又個人総合優勝のため。
函館クラブ大坂谷会員 何時もお世話になっています。
森(富)会員 帯広苫小牧出店決定のため
山崎会員 拓銀渋谷支店に転勤のため
深瀬会員 GSEを歓迎のため。
平山会員 なんとなく(永い間ホームクラブを欠席のため)

◎拓銀渋谷支店転勤につき御礼の言葉 山崎会員

10月1日付で渋谷支店に転勤を命ぜられました。初めてロータリーに入会して2年半の間色々な面で勉強させていただき、私の人生に非常にプラスになるものと思います。

当クラブの台所をお借りして参りましたが、皆様のお役に立ち得たか反省しています。緊縮型の金融状況であります皆様御健勝のうちに益々の発展を祈願致します。

◎交通事故収容者の教誨について 木村 清満教誨師

北海道は交通事故が多発しています。交通事犯で収容されている人々の実態についてお伝えし皆様の御協力をいただき、事故の防止をお願いしたいと思います。教誨師会の会長をさしおいて誠に具合が悪いのですが、どうぞお許しを願いたいと存じます。

函館少年刑務所は交通事犯の禁錮収容施設として昭和47年7月1日指定され、実際は4月1日より収容開始されています。教育課では道德教育と被害者の命日に供養をする様言われまして、教誨者として非常にやりがいのあることと思いきや引受けましたがまことにむづかしい問題であります。人間はどうしたら良いか、どうあるべきかを中心に宗教的話はさける事に致しました。通常一般懲役収容者の場合、教誨訓話に対して皆不まじめで、冬等は真赤にもえているストーブに背中あぶりに来ている様なものです。ところが、交通事犯の収容者は本当にまじめであるのにビックリしました。何かを学びたい、どうしたら良いかと緊迫したのがあります。死亡事故さえおこさなかったら平和に暮らす事が出来たであろう人々が深く反省し、自分自心を何とか改めたいと願っています。被害者の命日になると仏壇の前で読経し心から合掌し真剣そのものであります。皆が皆のために定められた法律の中に生きる我々はどうあれば良いか、との問いかけに『自分のした事に非常に腹を立て反省している』『すぐ必要な処置をしたならばあの人を死なせなくて良かったのではないか』『なれから来る過信と慢心であった』等々収容者は大変なやんでます。

反面、禁錮収容者の中で申訳ない気持ちが充分あっても罪そのものに対し非常に意識がうすい。運が悪かった、失敗だけをくやんでヤケになっていると言う面もあります。

又、過去において罰金刑を数回受けている、つかまった俺は運が悪いと言う責任感の不足から禁錮刑が表面的に終る危険性を感じます。従ってそれ以前の問題すなわち道德心その前提となる宗教心について教誨師として痛感しているものであります。

昭和47年4月から1年間の収容者は 197名で、うち妻帯者がなんと 115名となっています。うち20才から30才までの人が 102人となっています。常識ある平常人がなぜこんな死亡事故を引き起すのか？それは私共の最近の生活様式にも問題があり、又、利益追求の為の企業体のノルマシステム等にも問題があると思います。運転者が生活の為のそしてそれをしなければならぬ様な社会環境では事故は減らないのではないかとこの感を深める次第です。

◎会長の謝辞(木村教誨師に対し)

交通事故で収容されている方々の事について、私共の知らない貴重なお話をうかがって本当に勉強させられました。特に60才以上の方が2名もいると聞いておどろいている次第です。私共は間違っても木村さんから教誨を受けない様に気を付け、良識ある行動をとりたいと思います。有難う御座居ました。

★R. T. 事務総長ハリリー・A・スチュワート氏の書翰より

親愛なるロータリアン各位

「ロータリーの精神を振るい起こせ」という、この1974~75年度に対するウィリアムR

ロビンズ会長のテーマは、全ロータリアンが今一度、奉仕の理想にめざめ直すことを要請されたものであります。新会長のテーマは、各自が社会の構成・組織の向上に乗り出す前に、先ず各自の意志、即ち各自各様に形成する意志を一層固め、更新し、あるいは必要ならば、それを自覚し直すことから始めなければならないことを強調するものであります。

更新ということは堅固な土台を基礎としてこそできるものであり、ロビンズ会長はこの点を次のように強調しております。「ロータリーの力はロータリアンの一人一人が、他人のために尽すという奉仕の理想に自らを献げることから生まれて来るのであります。これがロータリーの精神であります」他人のために奉仕することがロータリーの土台であり、その根本精神、即ち奉仕の規範に従って行動する意志をもって献身することこそ全ロータリアンの目標でなければならないのであります。

今年、ロビンズ会長の七項目にわたるプログラムの第一である人を作ることを助成し推進する、またとない機会を得られたのであります。「ロータリーの仕事は何よりもまず人を作ることであり——献身、専念の人を」政に皆様は、本ロータリー年度を通して「個人個人が責任を持ち、奉仕の機会を求め、義務を果たすという理想」を古参会員には再認識させ、新会員には植え付ける機会を得られたのであります。就いては常に「すべてのロータリアンにもっとロータリーを注入しよう」ということを念頭に置いてご活躍願います。

1974年7月9日 ハリー

★公式訪問五行メモ (公式訪問だより)

函館北クラブ (7月9日・10日)

若い会員を多数増加されました。クラブ協議会にも多数出席され、ロータリーを知ろうとする熱意に打たれました。ハーバードドイツ領事の100年記念追悼会の主唱は独り淋しく異国に眠る霊を慰める異色の国際奉仕といえます。

◎出席報告 (9月25日)

会員数	52名	出 席 率	函館北 (9/25)	94.23%
出席	38名		函館亀田 (9/16)	休会
欠席	14名		函館東 (9/17)	98.92%
他クラブ出席	11名		函館 (9/19)	94.53%
出席合計	49名		五稜郭 (9/20)	100%
出席除外者	0名			

★誕生日 (10/10北条会員)(10/15松本会員)(10/19山崎会員)(10/20成田会員)
(10/26大江会員)(10/29小笠原会員)(10/31山矢会員)

◎第518回例会欠席者 (10月2日)

大嶋・大井・森(正)・成田・藤林・平野・駒井・松橋・柴田・佐々木・石橋・山崎(幸)
山矢 (以上13名 敬称略)

次回例会日 10月16日

プログラム クリーニング業から見たオシャレと清潔
小松 剛 会員



第351地区

函館北ロータリークラブ会報

The Weekly Report of Hakodate North R.C.

第520回例会

1974~1975 第16号 1974. 10. 16

「Renew the Spirit of Rotary」
「ロータリーの精神を振るい起こせ。」
(William R. Robbins R.I. 会長指針)



深瀬鴻一郎 会員

例会日 毎週水曜日 12:30-13:30 例会場 国際ホテル
事務所 函館市大手町5-10 日魯ビル 3階 (0138) 23-3870

本日のプログラム

「クリーニング業から見たオシャレと清潔」
小松 剛 会員

第519回例会記録

◎司会 青柳 喜一 会長

◎斉唱 我等の生業

◎ビジター 川崎R.C. 飯田 重行君

美 深R.C. 小田島虎男君

函館R.C. 村上 正夫君 他7名

函館東R.C. 宮崎徳三郎君 他2名